

生物多様性とは?

「生物多様性」とは、あらゆる生物種の多さと、それらによって成り立っている生態系の豊かさやバランスが保たれている状態を言い、さらに、生物が過去から未来へと伝える遺伝子の多様さまでを含めた幅広い概念です。

地球環境を考える3つの多様性

地球上には多種多様な生物種が生活しています(種の多様性)。同じ種でも、もっている遺伝子は個体ごとに異なります(遺伝子の多様性)。数多くの生物が様々な環境でお互いに関係をもちながら、多様な生態系をつくっています(生態系の多様性)。「生物多様性」とは生物の多様なありさまを一言で表した言葉です。この言葉は、温暖化やオゾン層の破壊など地球規模の環境問題への関心が高まった1980年代に生まれました。まだ社会に十分に定着していませんが、これからの地球環境を考えるための重要なキーワードです。



かはく“生物多様性シリーズ2010”これからの取り組み!

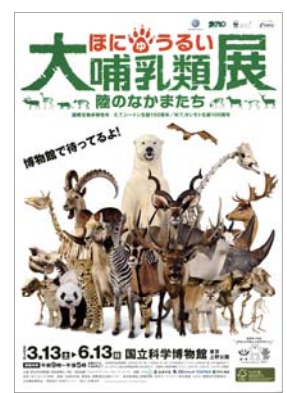
期間 3/13(土)～6/13(日)

第1弾

この春、動物ハカセになろう

特別展 「大哺乳類展—陸のなかまたち—」

哺乳類とはお乳を与えて子どもを育てる動物のことで、私たちヒトもその一員です。この展覧会では、国立科学博物館が所蔵する「ヨシモトコレクション」を中心とした様々な地域にすむ哺乳類の標本から、その進化、体のしくみや暮らしを知ることができます。私たちと同じなま、哺乳類を知ること、地球で多様な生き物と一緒に生きていくことの大切さを考えてみませんか?



みどころ
200種以上の哺乳類たち約280点が大集合!

休館日 毎週月曜日
(ただし3/22(月)、3/29(月)、5/3(月)は開館)
料金 一般・大学生400円(前売・団体券1200円)
小・中・高校生500円(前売・団体券400円)
※団体は各20名以上
そのほか、HPでお得なチケット(引換券)を販売します。
<http://www.asahi.com/mammal/>

Stamp Here

終了いたしました

上映月① 7月～8月

上映月② 11月～12月

第2弾

海のネットワークに飛び込んでみよう!

シアター 360 新作映像 「海の世界連鎖—太陽からクロマグロをつなぐエネルギーの流れ—」

地球上にはじめて生命が誕生したのは、約40億年前。今では175万種をはるかに超える生物が存在しています。その内の多くは、太陽の光エネルギーを生かすための食物に変え「食う・食われる」を繰り返しながらリレーしていく「食物連鎖」というネットワークの中で暮らしています。ここでは、地球表面の70%を占める海で、太陽の光エネルギーがどのように生物から生物にリレーされていくのかを見ていきます。



みどころ
迫力満点の360°映像で、海の中の「食う・食われる」を体感!

沿岸の浅い海では海藻が太陽の光エネルギーを受けて光合成を行い有機物を作り出して生長しています。
植物プランクトンを食べている動物プランクトンもイワシやサンマに海水ごと飲みこまれる運命です。
イワシの群れを狙ってカツオドリが海中に飛び込みます。イワシも必死で逃げようとして。

Stamp Here

スタンプ

スタンプラリー期間中の上映月は、3/20～4月、7月～8月、11月～12月となります。

期間 5/1(土)～7/19(月)

第3弾

日本の豊かな自然を守るのは私たちがのだ!

みどころ
豊かな日本の生物多様性が一目で理解できる



企画展 「日本の生物多様性とその保全—生き物たちのバランスの中に生きる—」

日本列島は春夏秋冬の季節変化に恵まれ、縦横に走る山脈、海流や季節風などの影響による複雑な気候と環境は、世界的にも多様な生き物たちをめぐんでいます。今、この豊かな生物相が様々な人間活動により危機に瀕しています。日本の生物多様性の実態とそれを守るための活動を知り、この豊かな自然を守るためにはどうすればよいのか一緒に考えてみましょう。

この秋、COP10生物多様性交流フェアに出展します!

この企画展のミニ版(約70㎡)を次のとおり出展します。
出展期間 10月11日(月)～10月21日(木)(予定)
出展場所 名古屋国際会議場(COP10会場)隣接「白鳥公園」内

名古屋会場でも押すことができます! Stamp Here

休館日 毎週月曜日および6/22(火)・6/25(金)
ただし3/3(月)・7/18(月)は開館
料金 通常入館料のみ
一般・大学生600円(団体300円)
高校生以下無料

スタンプ

期間 7/10(土)～9/26(日)

第4弾

夏休みは、海のなかまに会いに来てね!

特別展 「大哺乳類展—海のなかまたち—」

海に生きる哺乳類は、海から陸へ進出して陸で暮らしていた4本足の生き物が、海に生活環境を求めてもどっていくという不思議な進化をたどりました。本展は、化石、はく製、骨格など約70種150点もの標本を通して、海棲哺乳類の進化と生態の謎に迫ります。シロナガスクジラ、マッコウクジラ、シャチ、ミンミゾウアザラシ、ジュゴンなど、世界のさまざまな海域でくらす、さまざまな海棲哺乳類を間近に見ることができ、最近注目されている「ストラディンク研究」から見てくる最新の研究成果も紹介します。



みどころ
世界最大の生物シロナガスクジラ全身複製骨格が登場!

Stamp Here

休館日 7/12(月)、9/6(月)、9/13(月)
料金 一般・大学生1400円(前売・団体券1200円)
小・中・高校生500円(前売・団体券400円)※団体は各20名以上
そのほか、HPでお得なチケット(引換券)を販売。
<http://www.asahi.com/mammal/>

スタンプ

期間 9/18(土)～1/16(日)

第5弾

あしたもおいしいごはんがたべたい!

企画展 「あしたのごはんのために—田んぼから見える遺伝的多様性—」

今から約1万年前以降、人類は「農耕」という文明を手に各地に拡散し、自然の生態系に大きな影響を与えてきました。人類史の中で農耕は破壊と再生を繰り返し、その都度、社会は大きな転機を迎え、人類は様々な工夫により危機を乗り越えてきました。ここでは、私たちになじみの深い田んぼを舞台に、遺伝的多様性という視点から将来の食と農耕のあり方を考えます。



(左上) 焼畑の様子(ラオス北部) (右上) はぎ掛けされたイネ(青森)
◎総合地球環境学研究所佐藤プロジェクト
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌火曜日)
休館。ただし、9/21(火)は開館。
通常入館料のみ
一般・大学生 600円(団体300円)
高校生以下無料
(上) 小河墓遺跡(中国ウイグル)

みどころ
上野に江戸時代の田んぼがやってくる!

Stamp Here

スタンプ

第6弾

筑波実験植物園でもやろぞ!(所在地:茨城県つくば市天久保)

3000種類もの日本と世界の植物に出会えるぞ!

筑波山の南裾にひろがる緑ゆたかな自然あふれる植物園です。日本に生育する代表的な植物をはじめ、世界の熱帯や乾燥地に生育する植物などが皆さんを待っています。期間中、次の企画を実施します。
(事業詳細、休園日等はホームページで「筑波実験植物園」検索)

- ☆植物園フェスタ 7/21(水)～8/31(火)
- ☆絶滅危惧植物展 10/2(土)～10/11日(月・祝)
- ☆きのこ展 10/30(土)～11/7(日)

Stamp Here

スタンプ

第7弾

附属自然教育園でもやろぞ!(所在地:東京都港区白金台)

武蔵野の面影をしのぶ自然の中を散策しよう!

大都会「東京」の中心部にあって豊かな自然が残る。都市砂漠の中のアオアシスともいえる緑地です。四季折々に変化する生物の姿や風景に心をなごませ、自然と人間について考えてみましょう。期間中、次の企画を実施します。
(事業詳細、休園日等はホームページで「附属自然教育園」検索)

- ☆日曜観察会 ☆やさしい鳥学講座 ☆子ども自然教室
- ☆初心者のための植物学講座 ☆市民のための生態学講座

Stamp Here

スタンプ

実施期間: 2010年 3/13(土)～12/26(日)

かはく生物多様性シリーズ2010 スタンプラリー

上記の企画に参加(筑波実験植物園・自然教育園は入園でOK)してくれた人には、参加数に応じてかはくオリジナル記念品を差し上げます。上記のスタンプ欄に会場備え付けのスタンプを押して次の場所で記念品と引き換えてください。(上野本館:日本館地下総合案内所 / 筑波実験植物園・自然教育園:入口受付窓口)

参加数5つ! 生物多様性デザインクリアフォルダセット
参加数6～7つ! 生物多様性デザインスポーツタオル
(なお、6つ以上参加された方は、別途豪華賞品を用意した抽選に申し込むことができます。詳細はホームページで発表します。)